

第65期 中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日

SHIMA SEIKI REPORT

各種製品・サービスの利便性向上と連携を強化し、
未来に繋がるモノづくりを

- ▶ デザインソフトウェア APEXFiz®
- ▶ APEXFiz® Design-Soxを発売
- ▶ ニットソフトウェア
SDS® KnitPaint-Onlineを発売
- ▶ お客様のモノづくりをトータルでサポート

[株主のみなさまへ]

不確実な時代を、創造の力でしなやかに前進。
まだ見ぬ未来を描き、
モノづくりの可能性を世界へ広げる。

[TOPICS]

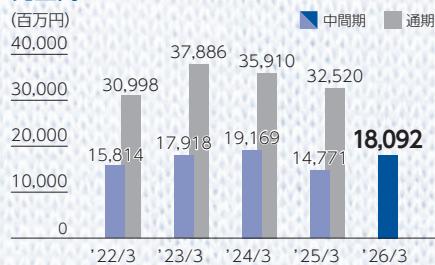
海外展示会 Pitti Immagine Filati 97

国内展示会 第100回 東京インターナショナルギフトショー秋2025

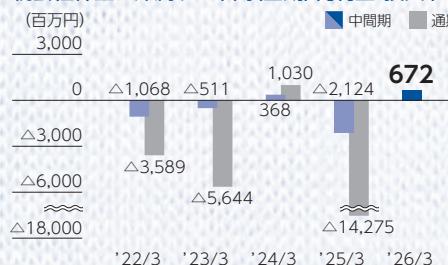


決算ハイライト

売上高



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益・損失(△)



1株当たり配当金



株主のみなさまへ

不確実な時代を、創造の力でしなやかに前進。 まだ見ぬ未来を描き、 モノづくりの可能性を世界へ広げる。

代表取締役社長 島 三博



▶ 上半期の総括

当 期(2026年3月期)上半期は、世界的な景気減速や為替変動に加え、トランプ関税の影響を大きく受けました。特に中国や東南アジアの顧客企業への影響が顕著であり、アパレル・ファッショング業界全体で投資意欲が低調に推移しました。上半期後半には一部で回復の兆しは見られたものの、主要市場である中国および欧州市場での回復が遅れ、厳しい事業環境の中でのスタートとなりました。

これらの結果、上半期の連結売上高は180億92百万円(前年同期比22.5%増)、営業損失は79百万円(前年同期は営業損失19億38百万円)、経常利益は7億80百万円(前年同期は経常損失20億35百万円)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は6億72百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失21億24百万円)となりました。

今期は厳しいビジネス環境だからこそ、当社の技術力をより広くプレゼンテーションする好機と捉え、積極的な活動をおこないました。7月上旬にイタリア・フィレンツェで開催された高級ブランド向けの国際展示会「第97回Pitti Immagine Filati」では、下半期から投入予定のコンピュータ横編機の新機種「SES®-R」を発表し、高い評価を得ました。新たなシンカーシステムなど独自技術による多様なデザイン表現が注目を集め、欧州の高級ブランドを中心に導入への期待が高まっています。編機の可能性を広げ、新しい価値を創出してきたホールガーメント®シリーズは、発売から30周年を迎え、引き続き好評を得ています。コンピュータ横編機の開発力に対する高い評価とともに、新しい時代のモノづくりを支えるツールとしての存在感を一層高めることができました。

デザインシステム関連事業では、サブスクリプションサービス「APEXFiz®」の契約数が堅調に推移。生産データへの変換機能や遠隔アップデートによる利便性が評価され、グローバル市場での存在感を高めています。一方、自動裁断機事業では、開発・製造・営業を一体化した事業部制を4月から始動。製品開発スピードとコスト競争力の向上を実現し、チーム間の連携が深まりました。顧客ニーズに即応する体

制が整い、一体感のある新しい価値創造を生み出しています。こうした取り組みを通じ、上半期は厳しいながらも「次の成長の芽」が着実に育ち始めた半年であったと考えております。

▶ 下半期の展望

下 半期は、上半期に築いた基盤を確かな成長へと結びつける重要な時期と位置づけています。世界経済の不透明感は依然として続くものの、トランプ関税の影響は緩和傾向にあり、中国、欧州、東南アジアなど主要顧客地域では、設備投資再開の動きが見られます。こうした市場の動きを的確に捉え、戦略的かつスピード感をもった提案活動を展開してまいります。

横編機事業では、ホールガーメント®横編機をはじめとする高付加価値機、ハイスペックモデルの基本性能を取り入れたスタンダードモデル機、経済性と高性能を両立するベーシック機の三軸体制で市場のニーズに合わせた製品を投入し、幅広い顧客層へのアプローチを強化します。また欧州やアジアに加え、内モンゴルやインド、中東など、新興地域にも積極的に展開を拡大。ハイエンド市場とボリュームゾーンの両面で、収益性と事業の拡大を両立させます。

当社はモノづくりを支える企業として、AIの実装にも先進的に取り組んでいます。すでにデザインシステムや横編機の一部機種にはAI技術を導入しており、長年蓄積してきた編み方のデータや素材情報をもとに、最適な提案を可能にする次世代型プラットフォームの実現に取り組んでいます。こうしたAI技術をモノづくりの基盤を支える重要なテクノロジーとして位置づけ、時代の変化を的確に読み取りながら、今後も積極的な開発・活用を進めてまいります。

当社の技術は現在、アパレル・ファッショング分野を超えて新たな産業領域へと広がりを見せています。メディカル＆ヘルスケア領域では、着圧ウェアやリカバリーウェアなど、健康や美容をサポートする製品の開発が進んでいます。またモビリティ領域では、自動裁断技術を応用し、軽量化・高精度化ニーズに応える新たなソリューションを提案しています。これらの取り組みは“衣”的領域を超えて社会課題の解決に

貢献するものであり、当社は次なる成長の柱と位置づけ、グローバル市場での事業拡大を視野に、意欲的に推進してまいります。

こうした事業領域の拡大は、変化し続ける社会や環境のニーズに応えていく取り組みでもあります。未来は気候変動の影響により、これまで当たり前だった素材やファッショングのあり方が大きく変わるかもしれません。このような未来を見据えたとき、当社が果たすべき役割は、モノづくりそのものを支える技術と仕組みを進化させ、新たな価値を生み出すことです。また環境への配慮はもちろん、人々の健康や快適さ、美しさを支える領域にも、新たな事業機会が広がっています。たとえば素材やニットの技術にセンシング機能や紫外線対策、美容効果を融合させること、あるいは糸そのものをデジタル技術と連携することで、衣服に新たな役割を与えることができます。こうした未来志向の生産プロセスでは、「つくる」「使う」「再生する」が循環する仕組みが欠かせません。大量生産・大量消費の時代から、個人が創造を楽しみ、SNSなどを通じて発信しながら、必要なものを必要な分だけつくる時代へ。新しい時代にふさわしいモノづくりのプラットフォームを構築することこそ、当社の使命であり、未来への挑戦だと考えています。

▶ 株主のみなさまへ

株 主のみなさまには、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

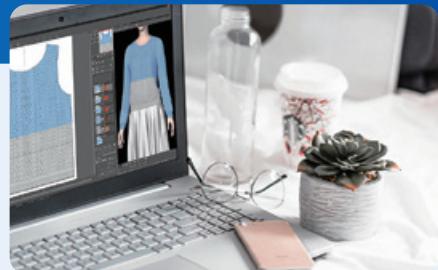
当社は、「創造の力で未来に幸せを」というパーカスのもと、混沌とした世界情勢に流されることなく、「未来に何が必要か」と問い合わせ、技術と発想をかけ合わせながら、次代のモノづくりを支え続けています。未来の幸せは自然に訪れるものではありません。われわれはどのようなソリューションが業界や社会の変革につながり、幸せを導くことができるのか、常に問いかげ、努力を重ねてまいります。当社にとって、株主のみなさまは共に未来を創る大切なパートナーです。これからも株主のみなさまのお声に耳を傾け、信頼と創造を原動力に、持続可能な社会と豊かな未来の実現を目指してまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

各種製品・サービスの利便性向上と連携を強化し、未来に繋がるモノづくりを ～SHIMA SEIKIはソリューションビジネスを加速させます～

中期経営計画「Ever Onward 2026」の重点施策の1つである「ソリューションビジネスの確立」に向けて、デザインソフトウェア「APEXFiz® Design」シリーズのラインアップ追加や、ニットソフトウェア「SDS® KnitPaint-Online」シリーズの販売など、製品バリエーションの拡充を進めています。また、SHIMA SEIKI Online Services (SHIMA online) では、各ソフトウェアで利用可能なWEBサービスの利便性向上と、サービス間での連携を強化し、お客様のモノづくりをトータルでサポートできる体制を構築しています。

デザインソフトウェアAPEXFiz®

「APEXFiz®」は、企画・デザインから生産・販売までのものづくり全般をサポートするAll in One のデザインシステム「SDS®-ONE APEX4」の強みはそのままに、多様化する勤務形態やお客様のニーズに合わせてお使いいただけるサブスクリプションサービスです。配色検討、リアルなファブリックシミュレーション、そして製品の3Dバーチャルサンプルまで作成可能で、高品質な製品イメージは写真と見間違えるほど。これにより、デザイナーと生産者とのコミュニケーションが円滑になり、実物サンプルの作成にかかる時間とコストを最小限に抑えることができます。



APEXFiz® Design-Soxを発売



「APEXFiz®」の新ラインアップとして、2025年6月に靴下専用デザインソフトウェア「APEXFiz® Design-Sox」を発売しました。靴下は色柄のデザインバリエーションが豊富なため、多くのデザインサンプルを検討する必要があり、バーチャル化との親和性が高いアイテムです。靴下業界では、「3Dで作成したファーストサンプルを確認後、大きな仕様変更なくそのまま量産に進む」という、理想的なワークフローが現実のものとなりつつあります。さらに、イタリアの大手靴下編み機メーカーLonati S.p.A.社のプログラミングソフトウェアと連携して利用することで、バーチャルサンプリングを活用した生産プロセス全体の最適化を実現します。

ニットソフトウェアSDS® KnitPaint-Onlineを発売

「SDS®-ONE APEX」シリーズに搭載している、横編機の編成データを作成するためのアプリケーションソフト「KnitPaint」をソフトウェアとして独立させた、プログラミング専用のソフトウェア「SDS® KnitPaint-Online」を2025年6月に発売しました。編成データの作成だけではなく、作成したプログラミングデータから完成品のイメージをバーチャルで確認できる機能も搭載されています。デスクトップやノートパソコンにインストールすることで、職場や自宅など勤務形態に合わせて、いつでもどこでもご活用いただけます。



お客様のモノづくりをトータルでサポート

SHIMA SEIKIが提供するさまざまなWEBサービスを集約させたプラットフォームSHIMA SEIKI Online Services (SHIMA online) は、各サービスを単体でもご利用いただけますが、組み合わせることでお客様の業務効率化やサステナブルなものづくりを可能にします。



世界初の糸情報総合WEBサービス yarnbank®

最新の素材情報や世界中の糸メーカーからのおすすめ素材情報が収集でき、バーチャルサンプル作成に使用できる糸データもダウンロードできます。

eラーニングシステム SHIMANAVI®

お客様のニーズに合わせた最新の講習を、都合の良いタイミング・ペースで受講できます。

カスタマーサポートサイト SHIMA HelpCenter

各種製品の機能を分かりやすく説明し、製品を使用するにあたって生じた疑問・問題を解決へ導きます。

ニット生産管理ソフトウェア SHIMA KnitManager™

編み機の稼働状況や生産の進捗などさまざまな情報を可視化することで、無駄なプロセスを省き、生産性を最大限に向上させることができます。

このようにSHIMA SEIKIはさまざまな製品・サービスの利便性を高め、連携を強化していくことで、お客様が直感的かつスムーズなモノづくりをおこなえる環境を構築していきます。お客様の多様なニーズに迅速に対応し、新たな価値を創造することで、業界全体の発展に貢献し、持続可能な未来のモノづくりを切り拓いてまいります。

TOPICS

海外展示会

Pitti Immagine Filati 97

2025年7月、イタリア・フィレンツェで開催された「第97回Pitti Immagine Filati」に出展しました。世界50カ国以上から3,300人が来場し、当社はイタリア初出展を含む3種類の横編機をはじめ、「yarnbank®」「SHIMA Datamall™」などのデジタルソリューションや最新ニットコレクションを紹介。これらの新技術により複雑な編み地や繊細なデザイン表現を実現し、多くの注目を集めました。

また、フィレンツェにある世界的に著名なファッショントレーニング専門学校の学生作品も展示し、新锐クリエイターによる横編ニットの魅力を発信。技術力と提案力をアピールするとともに、将来を担うニットデザイナーの育成と若年層への横編ニットの認知度向上を目指しています。



国内展示会

第100回
東京インターナショナルギフトショー秋2025

2025年9月に開催された東京インターナショナルギフトショーは、約2,000社が出展し、14万人が来場する国内最大級の展示会です。当社は裁断機による本革・合皮の名刺ケース制作デモを実施し、多くの来場者に革新的な技術と具体的な活用イメージを強くアピール。今回のギフトショーへの出展は、新規顧客開拓の目的において大きな成果を挙げ、今後の成長に向けた手ごたえを感じました。



会社概要

(2025年9月30日現在)

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| 商号 (英文表記) | 株式会社島精機製作所 SHIMA SEIKI MFG., LTD. |
| 本社 | 和歌山県和歌山市坂田85番地 |
| 創立 | 1962年2月4日 |
| 資本金 | 148億5,980万円 |
| 従業員数 | 1,313名(連結1,733名) |

株主メモ

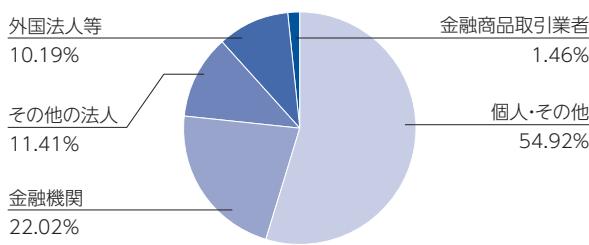
| | |
|----------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定期時 株主総会 | 基準日 3月31日 開催日 毎年6月 |
| 配当金受領 株主確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 下記当社ホームページに掲載 (https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載 |
| 株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料) |

(ご注意)

証券会社に口座をお持ちの株主様は、住所変更の届け出や単元未満株の買い取り・買い増し等の各種お手続きに関しては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。

所有者別株式分布

(2025年9月30日現在)



ホールガーメント®とは、SHIMA SEIKIが独自に開発した世界初の無縫製編成技術を備えた専用の横編機およびその横編機で編成されたニット製品の名称です。
SHIMA SEIKI、シマセイキ、SES、SDS、APEXFiz、yarnbank、SHIMA Datamall、SHIMANAVI、SHIMA KnitManager、ホールガーメントおよびWHOLEGARMENTは株式会社島精機製作所の登録商標または商標です。
(©2025 SHIMA SEIKI MFG., LTD.)

